

保育おおさか

No. 479

平成 27 年 7 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

人口動態と保育需要の把握

これからの施設運営を示唆

保育新制度
セミナー

6月8日、大阪国際会議場で、全国保育協議会主催の「保育新制度セミナーStageⅢ」が開催されました。

行政説明①

「子ども・子育て支援新制度施行後の今、押さえておくべき点について」のテーマで厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課 保育指導専門官の馬場耕一郎氏が説明。

冒頭、先日発表された「平成26年人口動態統計月報年計(概数)」について紹介。出生数は前年より約2万人減少、出生数と死亡数の差である自然増減数はマイナス約26万人である



約300人が参加

るなど、人口が減少している状況について報告されました。馬場氏は「人口減少を止めるには、さまざまな方策が必要だが、子育て支援を行う施設として、出生数が増加することを想定しながら、取り組んでいただきたい」と期待を述べられました。

また、5年間の計画期間とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」で記載されている各地域の保育・教育の需要量について、「この需要によって、各自自治体の今後の対応が変わってくる。今後の法人経営を考えるためには、人口動態や自身の市町村がどのような状況にあるかを各法人が把握することが大切」と強調しました。

さらに、平成30年に保育所保育指針が改定されること、あわせて幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領も改定される予定であり、主に「小学校との接続の強化」「保護者への子育て支援の位置づけ強化」「保育園の特性を活かすための大綱化(簡素化)」などを中心に今

年度から議論される予定であることを報告されました。

行政説明②

続いて、「社会保障審議会とりまとめを踏まえ、求められる社会福祉法人の取り組み」のテーマで厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 社会福祉法人制度改革推進室長 乗越徹哉氏が説明。

乗越氏から現在、国で議論されている社会福祉法人制度改革の内容を5つの柱で報告しました。

その内容は以下のとおりです。

①経営組織のガバナンスの強化。
役員・理事会・評議員会の権限・責任に係る規定の整備。親族等特殊関係者の理事等への選任の制限に係る規定の整備。一定規模以上の法人への会計監査人の導入など。

②事業運営の透明性の向上。
閲覧対象書類の拡大と閲覧請求者の国民一般への拡大。財務諸表、現況報告書、役員報酬基準の公表に係る規定の整備など。

③財務規律の強化。
福祉サービスに再投下可能な財産額(「社会福祉充実額」)を明確化。

(2面に続く)

「わあ、ちいさいな!」「かわいい!」と5月のある朝。5歳児の保育室で子どもたちの声が、聞こえてきました。



た。『何だろう?』と近づいていくと、飼育ケースの中にかたつむりの卵が。白い1ミリぐらいのものを数十個、土の上に見つけることができました。まるで小さな真珠のよう。そして、小さいのに殻がついているのです。かたつむりの卵を見るのは、私自身初めてで、子どもたち以上に嬉しい出会いで心が躍りました。4歳児の春から子どもたちが名前をつけて愛情深くお世話していたので、2年越しです。この卵が孵化して、どのように成長していくのか楽しみです。日々の保育の中でいろいろな小動物の誕生と成長を見守ってきましたが、感動をたくさんいただけるのは感謝です。

忙しい中で、小さな生き物との出会いに心躍り、心に潤いを与えられました。愛おしい生物の成長を見守り続け、また、これから子どもたちと生命の感動を大切にしていきたいと思います。

(編集委員 H・S)

(1面からの続き)

再投下可能な財産額がある社会福祉法人に対して、社会福祉事業または公益事業の新規実施・拡充に係る計画の作成を義務付けなど。

④地域における公益的な取り組みを実施する責務。

社会福祉事業または公益事業を行うに当たり、日常生活または社会生活上支援を要する者に対する無料または低額の料金で福祉サービスを提供することを責務として規定。

⑤行政の関与の在り方。

都道府県の役割として、市による指導監督の支援を位置づけ。柔軟に指導監督する仕組みに関する規程の整備など。

講演

「子ども・子育て支援新制度とこれからの事業運営について」のテーマで大阪府立大学・教授の関川芳孝氏が講演。

関川氏は「他の施設と比較され『選ばれるか』が今後の新たな課題である。利用料が一緒なら、利用料が安ければ、保護者はどちらを選ぶかなどを考え、利用



会員に役立つ研究と情報発信

小委員会事業計画

保育部会調査研究委員会

では保育所運営に必要な情報をいち早く取り上げ、調査研究を進めるとともに、

法人・施設の運営や保育士の資質向上を図る研修会の企画・実施や周知活動に取り組んでいます。

今年度は「子ども・子育て支援新制度」が施行され、新制度や幼保連携型認定こども園の運営についても保育所と比較を行いながら研究を進めていきます。

委員会全体での活動とともに、子育てに係るさまざまな課題に対して、小グループを編成し、スピード感を大切に活動します。

■制度研究グループ

会員が確実な情報を獲得し、情報交換を行いながら、国及び地方版の子ども・子育て会議と各分野での議論を追い、整理していきます。

また、現在議論されている社会福祉法人制度改革について、法人運営を円滑に行えるように国での議論を

整理していきます。

■子どもの安全研究グループ

新制度において特定教育・保育施設は事故の発生や再発を防止するための措置、発生した場合における市町村、家族等に対する連絡等を講じる必要があります。昨年に引き続き国の「重大事故の再発防止策に関する検討会」の議論を注視し、

子どもたちの安全安心向上につながることにについて研究し、情報提供や啓発活動を行います。

■よい子ネット・研修グループ

よい子ネットをより使いやすいものにするために、ラジオ関西と協議しながら、事業運営のサポートを行います。また操作説明会を開催し、会員施設への普及にも努めてまいります。

さらに、社会情勢や制度改革に伴い、その時代に合った研修会の実施や企画立案を行います。

■労務管理グループ

雇用形態が多様化し、職員を雇用するうえで留意しなければならぬことも多様化しました。ポイントを整理し、その法令遵守を呼びかけていきます。

労務管理関連法の研究のほか、マイナンバー制度について詳しく調査を行います、活用方法や問題点を検討します。

■資料集編集・電子化グループ

各市町村の子どもの人口動態や補助金など自園を取り

り巻く状況を把握し、変化を予測。施設運営を行う上での材料となる資料の作成を目指します。また、委員会の中でも資料集を分析し、例を示して資料集活用を促進していきます。

■「保育おおさか」の連携グループ

小委員会での活動を会員に知っていただくために、広報誌「保育おおさか」と連携し、研究や議論の内容を周知するための広報活動を行います。

保育を取り巻く環境の激しい変化にも迅速に対応した調査研究活動を今年度も実施していきます。

(編集委員T・T)

平成27年度 保育おおさか編集委員 名簿

選出ブロック等	施設名	氏名
編集委員長	坂門ヶ原保育園	齊藤 和正
副編集委員長	玉川橋保育園	小島 雅一
北 摂	摂津ひかり保育園	日野 正信
	おかまち保育園	得 喜成
北大阪	四条保育園	岡本 あおい
	くずは光の子保育園	柴田 弘子
	ギンガ保育園	田中 達彦
河 内	ゆう安中東こども園	重谷 重大
	あい桂こども園	橘 千佳
	エンゼル保育園	吉田 学
	やまゆり保育園	吉岡 敏洋
南大阪	高屋保育園	前田 直樹
	大野台保育園	吉川 竜平
	美加の台保育園	木村ムジカ由加里
堺	堺東保育園	志摩 拓郎
	みどり幼児園	橘田 浩史
	鳳西こども園	高槻 良平
泉 州	久保保育所	中塚 展朗
	幸保育園	安部 かおり
	ひねの保育園	神藤 吉伸
調査研究委員会	姫島南保育園	原 正直

社 会福祉法人さつき保
育園は、池田市で最
初の保育所として昭和27年
に設立されました。

歴史と伝統があり、理念
に賛同し、心のふるさとを
慕うように三世代にわたり
通園されているご家庭もあ
ります。現在の定員は12
0人です。

「感性豊かな子どもに育
つ」「将来自立できる心が育
つ」「人の気持ちがわかる子
どもに育つ」を方針に、心
が育つ保育を実践されてい
ます。具体的には二つの柱
①健康教育と、②情操教育
があります。健康の基本で
ある食事について、その中
でも朝食が一日のパワーの

心とからだを 健やかに育てる 食事と体力を 科学的に分析し情報提供

池田市

保育所

さつき保育園



かわいらしい外観の園舎

源であることを意識しても
らうために、平日の朝食、
休日に何を食べたかを親子
で「あか・き・みどり」の
三色食品群の表に色ぬりを
し、休日明けに提出します。
繰り返し取り組むことで意
識の改革を行っていきます。
「食べて・動いて・よく寝
よう」の生活リズム向上を
目指しています。

体育遊びでは、年2回の
体力測定を行います。身長、
体重のほか、握力も計測し
ます。それは、朝ごはんを
しっかり食べた子は、力を
発揮、持続することができ
るからです。25m走・立ち
幅跳び・ボール投げのデー
タを取り、体力の向上、成
長を分析しながら、健康教
育の取り組みと研究と裏づ
けたデータを保護者に発



力いっぱい握ります！

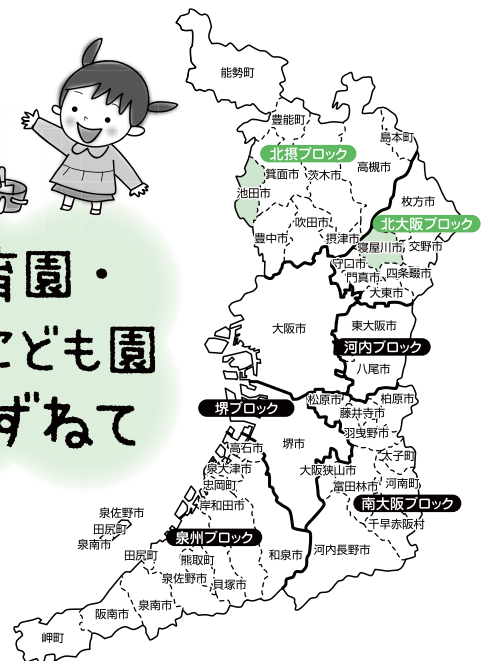
(編集委員M・H)

信されています。
情操教育では、まなび・
ゆとり事業として音楽遊び
にも力を入れておられま
す。プロの音楽家を招き、
演奏を聴く体験をしながら
健やかな成長を見守ってい
ます。



保育園・
認定こども園
をたずねて

519



「和」を通じて音感や体力を育みます

な でしこ保育園は45年
前に寝屋川市立とし
て創立し、2010年に現
法人に委託され民営化した
定員150人の保育園です。
香里園の成田山不動尊から
徒歩10分の静かな住宅地に
あります。

食への取り組みが重要な
柱の一つになっており、園
児、職員だけでなく保護者
へも訴えています。園の
ホームページには「食べる
ことは、子どもたちの成長
過程の中で身体づくり、意
欲づくりに大きく影響しま
す。…文化としての食事、
身体作りを…仲間とのふれ



冬にピッタリ大根汁クッキング

月1回の異年齢児交流
(3〜5歳児)では、各年齢
から均等になるようにグ
ループ分けを行い、色水バ
ケツリレー競争やミニミニ
運動会と名付けて競技を行
います。異なる年齢の園児
たちが助け合い、楽しく、
面白く競い合います。この
行事の良い点は、園児の楽
しみや協力・支えあう気も

食育で「食べること」に
意欲を持てる子どもに
田植えから食事まで
年間を通じて体験

寝屋川市

保育所

なでしこ保育園

社 会福祉法人久栄会横
堤みのり保育園は、
平成21年4月に開園された
定員70人の保育園です。

岩崎久仁子園長は「法人理念として『地域との和』、『園児・保護者との和』、『職員との和』。3つの和を大切にしていきます」と話されました。

3～5歳児が参加

何かあれば 助け合える関係づくり

保育所
よこつつみ

横堤みのり保育園

大阪市

地域の方との深い関わりは『地域のことは地域を良く知る方に相談』から始まっています。その中で『良好な関係を保ち、お互い頼れば助けてくれる』という思いがあるのでは」と日高珠理主任は話されました。

地域の他の社会福祉施設とのつながりも大切にされ、その一つとして防災の取り組みがあります。毎月1回行われている避難訓練では、子どもが歩いて5分程の距離にある他法人が運営する高齢者施設を緊急一時避難場所として使用できるように施設同士で調整をされています。

最後に「どの年齢でも人の関わり方は同じ」との岩崎園長の言葉が、子ども・保護者・地域の方との関わり方にうまく作用しているのだと感じました。



いろいろな種類の花を50株植えました

(事務局)

保育園・
認定こども園
をたずねて

520



閑 静な住宅街にある美加の台保育園。

木村ムジカ由加里園長は、お名前からも窺えるように、国際結婚されており、アルバニア共和国出身のご主人も、4歳・5歳を中心に英語の指導をされています。園長ご自身も英国留学を通して、英語に精通されており、その時に学んだ他者を受け入れる大切さを園児たちに伝えておられます。「これからますます国際化がすすみ、人種や言葉・文化・宗教そして障がいをもった子どもたちが、それぞれ自分とは違うということを、

し、日本の文化を伝えることにも注力されています。園長が留学先でよく日本のことを聞かれた経験から、本当の国際人を育てるには、まず自分の国のことを知ることが基本であるとの考えからです。図書館へ行って紙芝居や絵本を借り、読み聞かせもされています。

また、年に3回美加の台地区の保育園・幼稚園・小・中学校・PTA・民生委員の方々と連絡相談会を設け、地域の住環境向上に尽

美加の台保育園外観

英語教室

自然に受け入れる優しさ
心の大きさを育みたい」と
語られていました。

各クラス10人前後の園児
で、落ち着いた雰囲気の中

力されています。

同年代の若い保育士の先生方に囲まれて、木村園長は「お姉ちゃん」的存在として気軽に相談に乗り、ともに日々の保育に臨んでおられました。

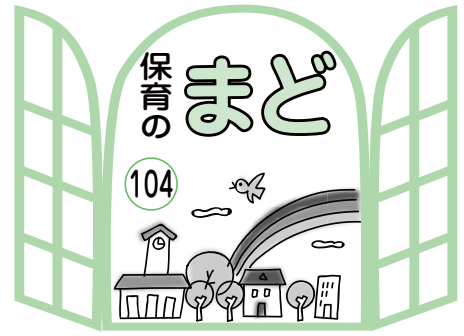
(編集委員N・M)

違いを受け入れる
優しさと心の大きさを育む

留学経験をもとにした
国際人を育てる保育

保育所

み か だい
美加の台保育園



シリーズ●より良い保育士養成のために

保育士養成校・いまどき事情⑥

養成もまたNES

大阪城南女子短期大学 松本 敦

ていました。

なかなか面白かったです。所々に心理学用語が出てくることにも関心が向きました(私の専門が心理学なので)。

一番は、著者(塾講師)の生徒への非常にポジティブな受け止め方、相手のいい所、できる所を探しているところとする姿勢です。つい、できていない所、ダメな所を見てしまう自分を反省。さらに、「その気にさせていく」雰囲気作り、的確なプログラム設定というところに興味を引かれました。何よりも、相手との信頼関係の構築、学ぶこと＝不快なこと、にならないよう

にすることなど、ごもつとも、なるほど、あるある：とツツコミながら読めてしまいました。教師と生徒、教師と保護者、親と子それぞれのあり方も考えさせられました。

学内では、ギャルに近い学生たちとのさまざまな乖離が年々広がっていきま

す。育ってきた時代・社会・文化が違うので当然のことなのですが、そのことの理解が難しいのです。例えば、最近、性格検査をするのが難しくなっています。個人情報がどうかとかということではありま

せん。質問項目の意味が理解できない学生が出てきているのです。「議論を好む」の「議論」がわからない。「寛容である」の「寛容」、「論理的・根拠」「献身的」「ユーモア」など、ただ言葉を知らないというだけでなく、その背景となる文化(共通体験)が違うのです。

同様に、こちらも若者言葉が理解できません。学生たちが「ヤバイ」を連発しますが、困ったこと・まずいことだけでなく、素晴らしいこと・感激したこと・すごいことにも使っていることに気づいたのは最近のことでした。

少し前は「KY」、今は「KS」があります。「既読スルー」から無視する・無視される、だそうです。「既読スルーって何?」は論外です。「萌え」だの「あげぽよ」だのよくわからない雰囲気・感性の世界観やら「ググる」「あけおめ」「HPG」の省略語やら、ついて行くのが大変です。

しかし、こうした彼らの日常会話が理解できると、なるほどそれなりにコミュニケーション・セッションがとれます。彼らと同じ目線、対等の立ち位置になって信頼が得られる。まさに「ビリギャル」の世界です。

いつも学生に言います。「子どもの目線になつて」「子どもの気持ちになつて」「子どもの感性、発想を受け止めて」、同じことでした。そういう「タメ口」になっていると注意したくなりま

すが、もともと対等・同等なコミュニケーション・仲間言葉を意味する言葉。そう目くじらを立てなくてもいいのかもしれない

ん。もっとも、上下関係や時と場所の使い分けや礼儀作法(これらも時代とともに変化しますが)を身につけてもらわないといけません。が、そのためには相互に受け入れることが必要なの

でしょう。

短大の2年生たちは、1年生がわからないといいま

す。卒業して1・2年もすると今時の実習生は…とい

い出します。

時代変化のサイクルが早

くなっているのでしょう。

それでも、この中で確実な

のは「自分たちがされて来

たように、自分たちもして

いる」という連鎖があるとい

うことです。

我々が彼らとどう向き合

い、どうふれあうかで、彼

らがまたその下の子どもた

ちとどう向き合い。どうふ

れあうかが方向付けられて

いきます。

養成(教育)・子育て・自

分を育てる育自(学習)は、

まさにネバー エンディン

グ ストーリー(Never

Ending Story)。我が身も

生涯学習、学生との日々は

刺激的な学習の場として自

ら学習を続けていく必要性

を感じています(正直、か

なり疲れますが…)。

今日もbeginの『THE

NEVER ENDING STORY』

の曲に癒やされながら、明

日からのJ-GITS(城南ガ

ルズ)たちの格闘を楽し

みとすることにします。

この5月から東宝系の映画館で上映され大ヒットしている映画に「ビリギャル」があります。私も見に行きたいと思いつつその時間がとれないので、原作本を読みました(2時間の通勤時間はちょうど良い読書時間になります)。

原題は、『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』(坪田信貴著 KADOKAWA)という長いものです。帯にもあった「子どもや部下だって同じこと。ダメな人間なんていないんです。ただ、ダメな指導者がいるだけなんです」のフレーズに、思わず手に取っ

第59回

全国保育研究大会のご案内

日程：平成27年
11月11日(水)～13日(金)
1日目－行政説明、基調報告
2日目－分科会発表(全11分科会)
3日目－記念講演

会場：山口市市民会館(全体会場) 他
主催：全国社会福祉協議会・全国保育協議会／全国保育士会、中国ブロック保育協議会、山口県保育協議会、山口県社会福祉協議会

申込締切：平成27年**9月25日(金)**

開催要項は全国保育協議会より送付済みですが、ご入り用の場合は事務局までお問い合わせください。

ブロックだより

OSAKA

北大阪

これからの社会福祉法人改革について

6月3日、ホテルモントレラ・スール大阪にて総会並びに研修会・懇親会が行われました。総会では、

130カ園のうち83カ園89人が参加。全ての議案が満場一致で承認されました。

研修会では、社会福祉法人虹福祉会理事長の高橋英治氏が「これからの社会福祉法人改革について」講演。法人経営者の意識改革について、「多額の公費が投入



高橋英治氏

され、非課税たり得る社会福祉法人としての責務が全うされているか。公益性と非営利性を備えた法人として、その組織運営等は今後どうあるべきか」など、社

会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい存在であることが重要と強調。また制度改革について、理事会・評議員会の位置付けや法人ホームページでの財務諸表の公表など、近い将来、社会福祉法人が直面する内容を解りやすく説明。これからは情報開示や説明責任を果たすことや社会で問われている社会福祉法

最近、社会福祉法人の

制度改革が活発に議論されています。内容についてはいろいろと疑問もあり、納得できないと感じることもたくさんありますが、日本の福祉を支える法人として、しっかりと自らの役割を見つめなおす良い機会ではないかと思う今日このごろです。

さんぽ
そのような中、本年度から始まったオール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業「大阪しあわせネットワーク」。保育部会においては定員1人につき千円の拠出金を各園が負担し、生活困窮者な

自立を促していくことが大切な心構え

河内ブロック

いと思います。

先日、本年度のスマイルサポーター養成研修に参加しました。前半の内容は現在の子どもたちを取り巻く家庭や社会の環境について、後半は事例

い、ということでした。現場にいと家庭の環境はよく見えますが、課題を抱える家庭でけっこう耳にするのはお母さんやお父さんが「もっと頑張らないとダメ」という言葉。

を用いグループで目立てと対応を協議し発表するというものです。

この研修を聞いてもつとも感じたことは、福祉に携わる者は性善説を基本にしなければいけな

私自身もそう感じることも多いのが本当のことですが、それでは相手の気持ちに寄り添えないから、問題が解決できません。まずは一生懸命頑張っていることを前提に話を聞き、自立を促していくことが相談を受ける者として大切な心構えなのだと思います。

そして、一段でも階段を上ったら良いと思えるぐらいの気持ちで気長に付き合うことが必要なのでしょう。自分の未熟さを感じ、心の澄んだ良い人間になりたいと思う私でした。

(はるか保育園T・Y)

泉州

「音楽」で子どもの笑顔とかがやきを

人の存在意義を明確に示し、今まで同様、子どもたちに最善の利益を提供できるように努めていくことが必要であると強く思いました。懇親会には高橋氏も参加され、新制度等の意見交換を行うことができました。(あすなろ保育園M・O)

5月16日、貝塚市コスモシアターにて泉州保育士会総会と、記念講演「音楽を楽しくもう」をテーマにゾリステン・ドライエックによる演奏を鑑賞しました。この日の出演は、ピアノ、トロンボーン、サクソフォンの3人組。まずは、軽快



音色が会場に響きました

なリズムの「ウィリアムテル序曲」から始まり、2曲目の「クラリネットをこわしちゃった」では、サクソフォンの音色を聞かせていただきました。その後、「トロンボッチャン」、運動会でおなじみの「クシコスポスト」など世代をこえて楽しめる曲を演奏していただきました。

映像に出てくる人物や動物のイメージをアレンジして演奏する音楽シアター「大きなかぶ」では、登場人物を色々なリズムにかえておもしろく表現。「名探偵コナン」の曲などは私たちが参加し、リズムを打ったり、曲に合わせて早口言葉に挑戦したりと会場が一体となって楽しめました。

最後は、昨年流行した「レットイットゴー」。

心が癒されたあつという間の2時間でした。子どもたちとともに音楽を通して、心豊かに過ごせる時間を重ね、いつも笑顔あふれる園でありたいと改めて思いました。

(認定こども園 Kids

まゆみA・T)